

◎新年会

1月15日に「天狗」で新年会を開きました。初めての酒が入った席になりましたが、今後の活動方針などについて、議論が盛り上がりました。



いよいよ、実績を作る新しい年が始まりました。

◎畑中氏が絵画を市長室へ寄贈

会員の畑中氏が、1月26日に油絵「なまズ」を市長室へ寄贈しました。

畑中氏は独学で油絵を勉強しており、以前に中原市長の似顔絵を描いた縁で、今回



は吉川市のシンボルであるなまズを描いて寄贈することになりました。

◎よろず支援拠点に相談



2月3日に越谷商工会議所にて、埼玉県よろず支援拠点の青木コーディネーターに、事務局の渡辺、須藤と浅野が面談しました。青木氏には本会立上げの準備段階から支援していただいております、今回は具体的な活動計画や実績作りの方法などについて相談しました。

費用についても明確化することやターゲットをハッキリさせて、それらをチラシなどに明記することなどを指摘されました。

◎埼玉県東部工業展

1月9日に、スーパーアリーナで開かれていた埼玉県東部工業展を、事務局の渡辺、浅野が見学してきました。吉川市や近隣の企業も出展しており、各ブースを訪問して情報を収集してきました。

また、木工房シンの高橋会長にもお会いできて、商工課の係長なども紹介していただきました。



◎吉川市商工課へあいさつ

2月21日に市役所商工課商工観光係の東原係長と稲田主事を訪問して挨拶してきました。本会の設立の経過から狙っているところを紹介して、支援をお願いしました。色々と活動の内容についても、アドバイスを頂きましたし、今後、商工課が主催するイベントなどの情報を頂き、市内の事業者との交流を深めることにしました。

◎木工房シンを訪問



2月21日に木工房シンを訪問して、高橋会長に挨拶してきました。会社創立の苦労話や無垢材を使った特殊家具の手作りを基本とする経営方針などについて、昔の設計図などの資料を基に、熱っぽく説明していただきました。手軽な商品がもてはやされる現在の状況で、独特な経営方針で生き延びていく逞しい姿を拝見して、感動しました。

◎本会会員が TSMC 熊本工場へ招聘



半導体メーカー世界最大手

ある台湾の TSMC 社が熊本に新工場を建設中です。この業界の最先端現場では数ナノメートル（10億分の1メートル）の極微細加工が必要で、その品質を維持するためには、振動と低周波音の制御が必須です。そこで、本会正会員の松田さんがサポートエンジニアリング会社の日本法人に技術顧問として招聘されました。

彼は、長年にわたって振動騒音問題に取り組んでおり、その技術力と実績が認められました。しばらくは、熊本と吉川で交互に活動します。

登録しており、その情報誌で紹介していただけることになりました。うまく要点をまとめた資料ができており、多くの市民に伝わる機会になります。

◎会員紹介

【浅野英世】



九州の大分出身です。産業用冷凍装置メーカーの(株)前川製作所で技術職として49年間仕事しました。主に茨城県の守谷工場で技術・商品開発と製造を担当して、欧米へ数年間駐在した後に、本社でエンジニアリング部門も経験しました。

大型機械装置の受注生産活動と、回転機、熱と高圧を扱う機械の設計・製造をベースとして、技術開発→商品化→製造→エンジニアリング→アフターサービスの一貫した事業を体験してきました。

◎3月定例会を開催

3月5日に天狗吉川店で定例会を開きました。メンバーの都合が合わず、少人数でのランチ会となりました。



互いの近況や本会の今後の活動方針などについて、意見を出し合いながら、和やかで有意義な会となりました。

○会員情報

正会員【9名】：渡辺次雄（副代表）、小枝明弘、須藤春美（会計）、浅野英世（代表）、松田隆司、原田稔、原田幸恵、有野泰弘、畑中明

賛助会員【4名】：井橋定男（茨城）、加藤勝義（東京）、橋原龍哉（東京）、佐藤克也（茨城）

◎市民活動サポートセンター情報誌に掲載

本会は吉川市民活動サポートセンターに団体



シニア二丁目事務局（浅野）
☎ 080 3691 0576
✉ senior2chome@gmail.com

（2023年3月31日）